

「第6期科学技術・イノベーション基本計画」答申素案に関する JEITA 意見

\* 2021. 2/10 内閣府指定 URL 回答フォームに従って下記意見をテキストベースで記入、提出  
<https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0507.html>

対象章	意見 各章ごとに 500 字以内
全 般	<p>(1)当協会の認識と一致しており、以下の点に賛同します。</p> <p>コロナ禍でその価値が明確化された Society 5.0 の社会像と、その実現に向けた科学技術・イノベーション政策は画期的で、下記を中心に、全般的に賛同します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5期基本計画の Society 5.0 というビジョンはぶれずに、社会変革の断行（トランスフォーマティブ・イノベーション）という決意の下での具体化</li> <li>・日本が新たな世界秩序、・ルール作りで主導的役割を果たすという覚悟</li> <li>・人文・社会科学による価値発見的な視座を取り込み、自然科学との総合知により、人間や社会の総合的理解と課題解決を推進</li> </ul> <p>(2)留意すべき点を以下に記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2章の「具体的な取組」のそれぞれにおいて、政策毎に【】で省庁名の記載がありますが、第3章 p81 記載の司令塔機能強化との整合性を第1章の基本的な考え方の中で説明すべきと思います。</li> <li>・Society 5.0 実現には、ICT をはじめとするデジタル技術がその根幹を支える共通基盤技術として重要であり、国際競争力を見据えた継続的かつ戦略的な研究開発投資の拡大、加速が不可欠と存じます。</li> </ul> <p>(全般合計 476 文字)</p>
第1章	<p>(1)当協会の認識と一致しており、賛同します。</p> <p>P. 4 での「我が国も（中略）主導的な役割を果たす」、p. 9 での「社会の変革を断行」、「極めて質の高い社会データの存在」の指摘は、Society 5.0 実現の鍵として重要です。</p> <p>(2)留意すべき点を記します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P. 10、3. (1) : 「DX の推進」では、はるかに高度な顧客体験が提供できる遠隔化技術は感染症拡大防止と経済活性化を両立させ、また人の移動の減少は環境負荷を低減しますので、その旨の記載が必要と考えます。</li> <li>・P. 11、2) : 社会の論理から国民へ与えるサービス、環境整備の視点で書かれているように感じられます。個が主人公であり、その主体性、能動性を促し、誰もがイノベーションの旗手、当事者であることをより意識づける記載にすべきと考えます。</li> </ul>

<p>第 1 章</p>	<p>・ P. 12 : (3)</p> <p>我が国の優れた価値観を社会実装での強みとすべく、</p> <p>「日本の社会重視の価値観でサービスデザインやビジネスモデルを検討し、バランスよく環境価値、経済価値を高める我が国ならではの社会アーキテクチャを具現化し、総合知による Well-being の最大化を図る未来像を、世界に提示すべき」とされては如何でしょうか？</p>
<p>第 2 章</p>	<p>・ P. 19 :</p> <p>9 頁の「極めて質の高い社会データ」は、日本の競争力の源泉とすべきで、その整備、活用に向け、欧州データ戦略のように、Society 5.0 の重点分野別データ戦略と分野間データ戦略の具体化、工程表の策定を明記すべきと考えます。</p> <p>・ P. 16 :</p> <p>Well-being 実現には、音楽や芸術などの文化的活動も重要で、非接触・遠隔化技術、実世界をまるごと 3 次元センシングして自由視点で再現する技術等が貢献でき、これらの取組推進が必要と考えます。</p> <p>・ P. 27 :</p> <p>平時にはコストを回収できるレジリエンス投資の仕組みやレジリエンス・バイ・デザインの考え方の記載が必要と考えます。</p> <p>・ P. 29 : 国境を跨ぐサイバー攻撃が多いため、「サイバーセキュリティ情報を国内外で」と記載すべきと考えます。</p> <p>・ P. 36 (26 行目) : 社会全体の変革は「国家戦略特区制度などの活用も含めた、一層の規制緩和あるいは見直しを進めつつ」行う旨の記載が必要と考えます。</p> <p>・ P. 71、6) :</p> <p>課題に立ち向かう人材の育成のため、リベラルアーツ教育とともに、デザイン思考教育を追記しては如何でしょうか。</p>

第 3 章

1) P. 81 社会受容性獲得の戦略、計画の具体化の記載をお願いします。

Society 5.0 実現に向けたイノベーションの社会実装には、実現価値や実装方法に対する国民の納得感、社会受容性の獲得が不可欠です。官民協調の下、社会との多層的なコミュニケーションを積極的に推進すべく、大阪万博でのショーケースだけでなく、公的科学関連施設での分かり易い常設展示、関連業界団体自身による Society 5.0 時代の将来像の具体的な提示、良質なコンテンツの学校教育やメディアを通じた提供、コンテストや\*\*ソンの実施など、実行を担保するためにも、「総合的な戦略や実行計画の具体化を行う」ことを記載しておくべきかと考えます。

2) P. 81 EBPM の具体的推進に賛同します。

客観的な証拠に基づく政策立案は、透明性、納得性の点で国民の支持を獲得する上で重要であることに鑑み、エビデンスシステム(e-CSTI)の活用と 2023 年とした上での EBPM の徹底を明記し、実効性を確保したことに、強く賛同します。EBPM の推進では、出来る限り、情報、データを公開する旨、追記が必要と考えます。